



碧翠寮だより2026 2月号

岡山白陵中学校・高等学校
碧翠寮

第3回 碧翠寮川柳大会

今年度で3回目となる碧翠寮生を対象とした川柳大会を開催しました。寮生に自由に募集し、寮生・寮監・学校教員による審査で各賞を決定しました。また、今回は初めて学校長に審査をしてもらい、特別賞として学校長賞を新設しました。応募数が過去2回より増えたうえレベルも上がっており、審査の票も分散する接戦となりました。

《最優秀賞》

帰省して 親のサイフに 寄生する

香川県高松市出身 高校2年

(受賞者母より)

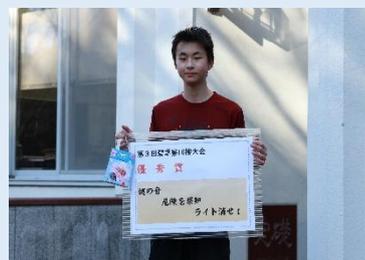
最優秀賞おめでとう。第3者目線だととても上手く考えていると思うけど…でも、寮で楽しく生活してくれて親としてとても嬉しく思います。日頃、寮で頑張っているので帰省の時くらいついサイフの紐が緩んでしまうけど、やることをしっかりとやらないと逆にサイフを「規制」するからね。



《優秀賞》

鍵の音 危険を察知 ライト消せ!

京都府舞鶴市出身 高校1年



《特別賞 ~学校長賞~》

テスト後は いつも出てくる 「いけたかも」

広島県福山市出身 中学1年

(学校長より)

試験前にしっかりと準備をし、手ごたえも十分であったのに結果は期待していたほどではなかったという、学生の悲哀がよくあらわれています。くじけず努力を続けましょう。 志水



今度こそ 出来てるはずだと 採点し

柔道大会

2月19日（木）、今年度の柔道大会が開催されました。

寮生も正選手になり、クラスの代表として活躍していました。また、柔道部員は審判など裏方として大会を支えてくれていました。



その他

①



②



① 2月8日～9日、全国的な寒波の影響で熊山地域も少し積雪がありました。登校時の積雪でいつもより楽しそうな登校になっていました。

② 卒業生が医学部の合格の報告に来てくれました。

充実した学生生活を送って、素晴らしい医師になってくれることと思います。合格おめでとう！

寮職員のおびやき

『当たり前』

今年度の川柳大会で、ぎりぎり入賞できなかったが、個人的に好きな作品、

「冬になり 春に近づき夏になる」

この当たり前やないかい！とツツコミたくなる発想に感心させられた。

当たり前と言えば、今まで当たり前前だった生活を吹き飛ばしてしまった「コロナ」。今の高3生は中学での入学が延期となり、6月の入寮となっていました。入寮後も、それまで当たり前であった事に制約をせざるを得なかった。

その日常の中でも、彼らは新しい当たり前を作り前向きに生活していた。できなくなつた事を嘆くのではなく、出来ることを見つけることを彼らに教えてもらった。

そんな彼らの未来に当たり前のように笑顔が溢れることを心から願っている。

48期みんな、卒業おめでとう。